

研究成果情報		園芸	13	花き・花木	栽培
新技術・情報名	秋ぎく 秀芳の力の5～6月出し栽培における良品生産のための遮光方法			分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

秋ぎく「秀芳の力」の5～6月出し2度切り遮光栽培は、開花の遅れや花弁の伸長不良、奇形花の発生等が指摘されているため、良品生産のための遮光方法について検討し、作型を確立した。

(1) 遮光資材は、遮光率の低い資材を使用すると開花の遅れや花弁の伸長不良を生じるので、遮光率が100%に近いテルエース・ブラックやシルバーポリトウを使用する。

(2) 遮光開始時期は、5月出し栽培では3月20日に消灯後、すみやかに遮光を開始する。4月上旬以降に遮光を開始すると開花が遅れ、開花の揃いが悪くなり、花弁の乱れを生じて切花品質が低下する。

(3) 遮光期間は、5月出し栽培では破蕾期に達するまで7週間行うとよい。6月出し栽培では、高温・長日によって開花の遅れや切花品質の低下を生じやすいので、遮光は切花時まで確実にを行う。

2) 技術・情報の適用効果

5～6月出し遮光栽培におけるきくの品質向上により、周年出荷体制が確立し、きく経営の安定に資することができる。

3) 適用範囲

県内全域のきく栽培地域

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

(1) 遮光時間は夕方6時から朝方6時または6時30分までとし、日長時間が11時間30分から12時間となるようにする。

2. 具体的データ

表1 遮光資材と開花及び開花時の諸形質 (平成元年)

遮光資材	平均 開花日	切花長 cm	葉数 g	舌状 花数	反転 花弁数
	月日	cm	g		
テラス・ブラック	5.6 ^b	104 ^b	42.5 ^{**}	176 ^{**}	0.8 ^c
テラス・シハ-	5.7 ^a	108 ^a	42.9	172	5.2 ^a
シハ-ボリウ	5.6 ^b	107 ^{ab}	41.9	180	0.9 ^c
ボリウイン	5.7 ^a	109 ^a	42.1	179	3.2 ^b

注) ① 電照方法: 1月20日から3月10日まで深夜4時間の暗期中断処理
 ② 反転花弁数は舌状花数の内数
 ③ アルファベット記号が異なる場合, Duncanの多重検定(5%レベル)により有意. **: 有意差なし

表3 5月出し栽培における消灯時期及び遮光期間と開花及び開花時の諸形質 (平成元年)

消灯時期	遮光 期間	平均 開花日	切花長 cm	葉数	舌状 花数
		月.日	cm		
3月10日	5週間	5.9 ^c	93 ^b	40.3 ^b	178 ^{**}
	6週間	5.10 ^c	92 ^b	40.1 ^b	180
	7週間	5.9 ^c	91 ^b	40.1 ^b	178
	8週間	5.9 ^c	93 ^b	38.6 ^b	179
3月20日	5週間	5.19 ^a	106 ^a	43.5 ^a	182
	6週間	5.19 ^a	104 ^a	43.6 ^a	182
	7週間	5.17 ^b	103 ^a	43.3 ^a	178
	8週間	5.16 ^b	102 ^a	43.5 ^a	183

注) ① アルファベット記号が異なる場合, Duncanの多重検定(5%レベル)により有意. **: 有意差なし

表2 遮光開始時期と開花及び開花時の諸形質 (平成元年)

遮光開 始時期	平均 開花日	開花日の 標準誤差	花径 cm	舌状 花数	反転 花弁数
	月.日	月.日	cm		
3.20	5.11 ^c	0.76	13.6 ^{**}	193 ^{**}	1.0 ^b
3.27	5.12 ^{bc}	0.77	13.7	184	2.8 ^b
4.3	5.13 ^{ab}	0.79	13.3	195	1.9 ^b
4.10	5.14 ^a	1.11	13.2	194	2.2 ^b
4.17	5.13 ^{ab}	1.60	13.5	193	8.0 ^a
4.24	5.14 ^a	1.28	13.3	186	11.6 ^a
5.1	5.14 ^a	1.45	13.3	189	8.4 ^a
無処理	5.14 ^a	1.74	13.4	192	9.4 ^a

注) ① 電照方法: 1月30日から3月20日まで深夜4時間の暗期中断処理
 ② 反転花弁数は舌状花数の内数
 ③ アルファベット記号が異なる場合, Duncanの多重検定(5%レベル)により有意. **: 有意差なし

表4 6月出し栽培における遮光期間と開花及び開花時の諸形質 (平成2年)

遮光 期間	平均 開花日	切花長 cm	葉数	花径長 cm	舌状 花数
	月.日	cm		cm	
3週間	6.17 ^a	88 ^b	44.3 ^{**}	9.1 ^d	194 ^c
4週間	6.13 ^b	87 ^b	44.1	10.0 ^c	200 ^b
5週間	6.10 ^c	91 ^{ab}	44.9	10.5 ^{bc}	204 ^{ab}
6週間	6.9 ^{cd}	93 ^a	43.8	11.5 ^a	211 ^a
7週間	6.8 ^d	91 ^{ab}	43.5	11.1 ^{ab}	205 ^{ab}
8週間	6.7 ^e	90 ^{ab}	42.5	11.6 ^a	206 ^{ab}

注) ① 電照方法: 3月1日から4月5日まで深夜4時間の暗期中断処理
 ② 反転花弁数は舌状花数の内数
 ③ アルファベット記号が異なる場合, Duncanの多重検定(5%レベル)により有意. **: 有意差なし

3. その他特記事項

担当部科室名 : 園芸研究所 野菜花き部 花き花木研究室
 研究担当者名 : 谷川孝弘, 小林泰生
 研究課題名 : 施設ギクの周年生産技術の確立
 期間 : 平成元年～平成2年
 予算区分 : 経常
 既発表論文・資料名等 : 福岡県農業総合試験場園芸研究所
 花き花木試験成績書・平成元～2年度
 取りまとめ責任者名 : 谷川孝弘